

学校事務の共同実施による業務の効率化

中核校	栗山町立栗山中学校	指定校	栗山町立栗山小学校 栗山町立角田小学校 栗山町立継立小学校
-----	-----------	-----	----------------------------------

実践前の状況

- ・事務職員は基本単独で業務にあたり、教育振興会の部会の中で近況を報告する程度の交流に留まっていた。
- ・学校事務の共同実施については、学校間連携の視点で話したことはあるが、計画的な取組には至らなかった。

実践の概要

共同学校事務室設置に向けた連携の在り方の検討

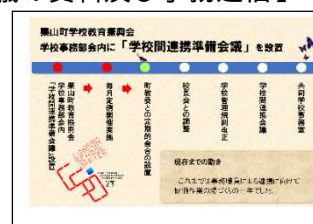
- ・本事業では「共同学校事務室」の設置を視野に入れつつ、学校間の相互連携の在り方や今後の方向性を検討する作業を中心に進めた。
- ・今年度の事務職員間の具体的な成果として、備品要望を共同で実施したり、保護者向けの事務通信を共同で発行したりした。

学校間連携

- ・今年度、組織体制が整備され、栗山町学校教育振興会学校事務職部会の中に「学校間連携準備会議」が設置されたことにより、教育委員会や学校長会等との包括的な事業展開が可能となった。



【準備会議の資料及び事務通信】



【共同学校事務室設置に向けたロードマップ】

実践の充実にに向けた取組の工夫

〔教育委員会の取組〕

- ・「共同学校事務室」の実現に向けた諸課題を洗い出し、特に教頭の業務負担軽減の具体的な取組について4校の事務職員（5名）と協議を重ねた。 については、分掌業務の再分担等、一定程度の成果につなげることができた。

〔学校長の取組〕

- ・コアチームに事務職員を含めて再編し、包括的な働き方改革の改善について取り組んだ。
- ・教育委員会と連携し、「共同学校事務室」の実現に向けた諸課題の洗い出しと、特に教頭の業務負担軽減の具体的な取組について、中核校を中心に協議を重ね、4校で課題を共有しながら一定程度の成果につなげることができた。

〔事務職員の取組〕

- ・加配事務職員が教育振興会学校事務部会の部長となって、町内事務職員の協働意識を高めた。
- ・加配事務職員は年3回の事務部会を「学校間連携準備会」として毎月の定例会議に改善した。
- ・加配事務職員が町内4校の学校のWebページの作成や各校巡回による業務負担の改善に努めた。

成果（ ）と今後の課題（ ）

加配事務職員に関わるアンケートで、働き方改革に効果があったと回答した管理職が100%、教職員が90%以上となった。

4校で統一感のある学校のWebページを作成したことにより、学校情報を分かりやすく発信することができた。

事務職員が中心となり、働き方改革のコアチームの充実を図る必要がある。

